令和 5年 第1回定例会　　千歳市議会会議録（令和5年3月27日） 補正予算質疑

△日程第7
△議案第25号 令和5年度千歳市一般会計補正予算について（第1回）
○山崎議長 日程第7 議案第25号令和5年度千歳市一般会計補正予算について（第1回）を議題といたします。
提出者の説明を求めます。
◎佐藤総務部長 私からは、議案第25号について御説明を申し上げます。
議案第25号は、令和5年度千歳市一般会計補正予算（第1回）であります。
別冊の令和5年度千歳市一般会計補正予算書の1ページをお開き願います。
歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億3,935万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ470億8,276万7,000円としようとするものであります。
各事業の補正内容でありますが、歳入歳出補正予算事項別明細書の歳出、8、9ページをお開き願います。
2款総務費、1項総務管理費、6目財産管理費に1億3,935万3,000円の追加は、千歳美々ワールド整備事業費であり、本市の工業団地、千歳美々ワールドにおいて、新たな企業立地が見込まれることから、用地現況測量、分筆測量、開発行為変更許可申請資料作成業務など、必要な費用を追加しようとするものであります。
以上、歳出に1億3,935万3,000円を追加し、歳出合計を470億8,276万7,000円としようとするものであります。
補正額の財源内訳のうち、一般財源1億3,935万3,000円につきましては、歳入の事項別明細書の6、7ページをお開きいただきまして、20款繰入金、1項基金繰入金、1目1節財政調整基金繰入金1億3,935万3,000円を充当するものであります。
また、今回の補正予算後の財政調整基金の年度末残高は18億9,000万円程度となる見込みであります。
以上、議案第25号について御説明申し上げましたが、よろしく御審議、御決定いただきますようお願い申し上げます。
○山崎議長 ただいまから、質疑を行います。

◆12番北山議員 ちとせの未来を創る会、北山でございます。
私のほうから、2点ほどお尋ねをしたいと思います。
まず、今回、補正予算額として計上されている、この千歳美々ワールド整備事業費について、先週、私が所属している産業建設常任委員会のほうで概要説明は受けましたけれども、今回、計上された補正予算額は1億3,900万円余りの妥当性が不明でしたので、過去に美々ワールドD区画に進出したセイコーエプソン株式会社の立地時における調査測量等関連委託費について、資料の提示をお願いしておりました。

今朝、資料のほうをいただきまして見ましたところ、当時、千歳市土地開発公社とセイコーエプソン株式会社との間で売買契約を結んだ土地の面積が約16万平米で、調査測量等に関する委託費の設計金額が3,912万3,000円とのことですので、単純に割り返しますと、当時は平米当たり240円くらいだったかというふうに思います。

これを今回のRapidus社が取得を予定している土地面積と比較した場合、どのくらいの差になるのかというのが気になっております。

労務費や諸物価なども当時から比べると相当上がっていると思いますし、当時は公社で今回は市の予算ということで単純比較は難しいのかもしれませんが、今回計上された補正予算額の妥当性について、いま一度、市のほうの御見解をお聞きというふうに思います。

◎大和産業振興部長　お答えいたします。

千歳美々ワールド整備事業費の金額の妥当性ということについてでありますけれども、千歳美々ワールドのD区画につきましては、平成13年3月29日に千歳市土地開発公社とセイコーエプソン株式会社との間で土地売買契約が締結されており、千歳市土地開発公社では、平成12年度の事業として地質調査や画地確定調査などの調査測量等委託事業を実施しております。

この事業の実績につきましては、3,767万4,000円というふうになっておりまして、D区画につきましては、16万528.56平方メートルでありますことから、当該事業費の1平方メートル当たりの単価は約235円というふうになります。

一方、今回の千歳美々ワールド整備事業費につきましては、1億3,935万3,000円でありまして、事業の対象となる面積は53万1,938平方メートルであることから、1平方メートル当たりの単価は約262円ということになります。

また、労務単価のほうですけども、平成12年度には1日1万6,000円程度であった労務単価が、令和5年度は2万2,000円を超えるなど、およそ36%上昇していることなどを考えますと、平成12年度とのケースの比較ということになりますけれども、金額としては妥当ではないかなというふうに考えているところであります。

以上であります。

◆12番北山議員　ありがとうございます。

もう一点お伺いします。

美々ワールドは、他の工業団地は違って、企業から引き合いがあった場合に開発に着手をする、いわゆるオーダーメイド方式ということは以前から言われておりますし、私も理解をしておりますけれども、そもそも今回の事業において、どこからどこまでがこの市の負担で行わなければならないということになっているのか、その辺がちょっと明確に分からないというところもございますので、取りあえず、今般の補正予算に上がった部分で結構なのですけれども、これから行う用地の現況測量ですとか土壌環境調査など、こういったものを本市は行われなければならない理由について、いま一度、お示しいただければというふうに思います。

◎大和産業振興部長　お答えいたします。

今回、御提案を申し上げております補正予算によって実施する事業でありますけれども、今おっ

しゃられたように、オーダーメイド方式ということで、未整備地区である美々ワールド第2期整備区域の整備を進めるに当たりまして、売買や賃貸を行うために所有者である市がその前段階として実施する業務を計上しているものでございます。

例えば、用地現況測量業務についてでありますけれども、当該地区は、登記上、1筆の土地となっており、道路予定地や調整池設置予定箇所なども分筆されていない状況であるほか、その外周は周辺の土地との境界が確定されていない状況でありますことから、全体の測量を行った上で、用地境界に杭を設置するものであります。

また、土壌環境調査業務に関しましては、造成前に土壌汚染の有無というのを確定させさせておくことや、立地後の環境保全における公正な基礎データとするものであるなど、仮に当該地区にRapidusではなくて他の企業が立地する場合ということであっても、今回同様の測量等の業務につきましては、市の責務で行う必要があるものというふうに考えております。

以上であります。

◆12番北山議員　取りあえず、理解をいたしましたので、私の質疑は以上といたします。

ありがとうございました。

○山崎議長　これで、北山議員の質疑を終わります。